

## 授業科目 看護学概論

【担当教員名】 佐藤 信枝		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎		◎	◎	○	○
【概要・一般目標：GI0】 看護とは何かを学ぶために、看護の構成要素である人間・環境・健康・看護について理解する。 そして、これから学ぶ看護学を考えていくための動機づけとする。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 看護とは何かについて探求する姿勢をもてる。 2. 看護の歴史的背景を知り、現代の看護の考え方と対比する。 3. 人間と環境との関連を説明する。 4. 健康と看護との関連を説明する。 5. 保健医療システムで看護が機能する法制度、多職種との連携を説明する。 6. 看護活動の実践方法を具体的に述べる。 7. 看護管理とはなにか具体的に述べる。 8. 看護の倫理の重要性を説明する。 9. 広がる看護の活動領域（国際看護、災害看護）を説明する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	看護を考える			1	講義と当日課題、担当：佐藤 信枝
2	職業的看護の誕生と発展（ナイチンゲールの功績と近代看護）			1.2	講義と当日課題、担当：佐藤 信枝
3	職業的看護の発展（アメリカ・日本）			1.2	講義と当日課題、担当：佐藤 信枝
4・5	人と環境（発達・変化するものとしての人間、環境の変化と対処機制）			1.3	講義と当日課題、担当：佐藤 信枝
6	健康と看護（病気におけるウエルネスの促進、健康と病気、人々の健康の状態）			1.4	講義と当日課題、担当：佐藤 信枝
7	看護の対象（個人、家族、地域）			1.3	講義と当日課題、担当：佐藤 信枝
8	保健、医療、福祉システムと看護			1.5	講義と当日課題、担当：佐藤 信枝
9・10	看護実践の方法（看護活動の特徴、対人関係の重要性、看護過程）			1.5.6	講義と当日課題、担当：佐藤 信枝
11・12	看護管理（看護関連の法と制度、看護サービスのマネジメント、医療安全）			1.6.7	講義と当日課題、担当：佐藤 信枝
13	看護における倫理（患者の権利とインフォームドコンセント、倫理上の問題、看護研究における倫理）			1・6・8	講義と当日課題、担当：佐藤 信枝
14	広がる看護の活動領域（国際看護、災害看護）			1・6・7・9	講義と当日課題、担当：佐藤 信枝
15	まとめ、試験（60分）			1～9	講義と知識確認、担当：佐藤 信枝
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		看護学概論	松木光子	ヌーベルヒロカワ	2013・2,200円＋税
参考書		看護学概論	茂野かおる、長谷川万希子、林千冬	医学書院	2013・2,400円＋税
その他の資料		看護覚え書 第6版	Nightingale, F	現代社	2007・1,700円＋税
【評価方法】 当日課題 20% レポート 20% 試験 60%			【履修上の留意点】 授業の時に参考文献の提示をするので、教科書以外の知識・興味を持てるように幅広く学習する。		